



石木ダムは、必要性のないダムです！

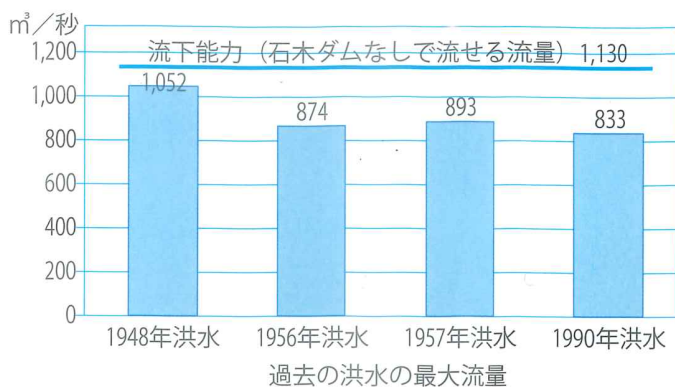
県が掲げる目的は、いずれも石木ダム建設の理由を無理矢理つくり出すために考えられたものです。石木ダムは川棚川の治水対策として不要なものですし、佐世保市の水道は石木ダムがなくても、何も困ることはありません。

■川棚川の洪水対策にとって石木ダムは？

●戦後の最大洪水（1948年洪水）がきても、石木ダムなしで対応できることは長崎県が認めています。

●長崎県はもっと大きな洪水、100年に1回の洪水に備えて、石木ダムが必要だとしていますが、これは実績とかけ離れた過大な洪水目標流量を設定しているからであって、実際には、石木ダムなしで100年に1回の洪水にも対応することが可能です。

過去の洪水の最大流量と川棚川の流下能力
(川棚川・山道橋)



[注] 長崎県の資料から作成。過去の洪水流量は野々川ダムの効果を考慮。

■佐世保市の水道にとって石木ダムは？

●佐世保市水道の需要は減り続け、水源に余裕があります。

佐世保市水道の水需要は人口減少と節水型機器の普及などで2000年度から減り続け、2014年度以降は8万m³/日を下回っており、今後はさらに減っていきます(右図)。

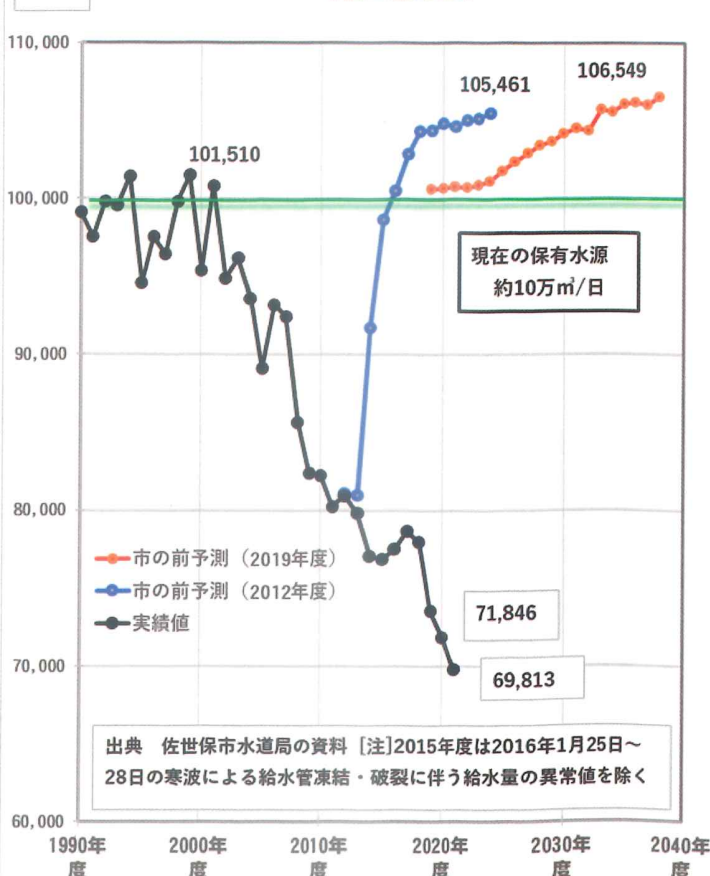
佐世保市は安定水源が7.7万m³/日しかないとしていますが、実際には湯水時にも使える水源が約10万m³/日あります。

現在すでに約2万m³/日の余裕がありますので、水需給に不足をきたすことはありません。

●架空の予測を続ける佐世保市

佐世保市は、水需要の確実な減少傾向を無視し、今後は水需要が急増していくという架空の予測を行い(右図)、将来は水不足に陥るから、石木ダムが必要だという偽りの話を作り上げています。

佐世保市水道の一日最大給水量の実績と市予測
(佐世保地区)



出典 佐世保市水道局の資料 [注] 2015年度は2016年1月25日～28日の寒波による給水管凍結・破裂に伴う給水量の異常値を除く



コスモスの先には「緑のダムで、治水も利水も 石木川ホタルの光、永遠に」の看板(2022年秋)

こうばるは今

『ふるさとを必要性の乏しいダム建設から守る』という当初の目的は、いつの間にか権力との闘いに発展していきました。半世紀超に亘って住民を苦しめている石木ダム事業は、人権侵害甚だしい公共事業とされています。

ダム予定地の全部を強制収用した起業者は、反対者の用水路と田んぼを土砂で埋めて生活基盤を破壊しました。山は削られ田畑は土砂で埋められています。

春には菜の花のジュータン、5月末には蛍が乱舞する川面、秋には黄金の稲穂が彩る当たり前の風景が見られなくなっていきます。

県と地元の間には、「ダム建設は、地元と文書による合意の上で行う」という約束【覚書】が存在します。

が、守らない長崎県は、嘘つきです。公共事業は「法に叶い、理に叶い、情に叶う」ものでなければならぬものです。長崎県には似合わないが、いよいよ行政代執行が目前に迫っています。本命は団結小屋です。ダム堰堤の真下に位置するからです。ご支援よろしくお願いたします。



県が田んぼに土砂を投入(2023年3月22日)



花見とグラウンドゴルフのひとつの休日(2023年4月2日)



付け替え道路工事現場の中心にある抗議の座り込みテント前(2022年12月7日)

抗議・要請先

あなたの声を届けてください

長崎県知事 大石 賢吾

電話 095-824-1111 (代表)
〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3-1

WEB **知事への提案**

FAX **095-826-5682** (県民センター)

土木部 電話 095-823-3280

FAX 095-824-7175

石木ダム建設事務所

電話 0956-82-5109

FAX 0956-83-2944

佐世保市長 宮島 大典

電話 0956-24-1111 (代表)
〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1番10号

WEB **市長への手紙** FAX **0956-25-2184**

新聞・TVへの投書、投稿もお願いします

ダムの情報はこちら

水源連

<https://suigenren.jp/>

